

ほっとNEWS

発信元

鹿児島営繕事務所 総務課

発行日：令和4年12月13日

😊 鹿児島大学生が現場を体感 😊 ～ 鹿児島第3合同庁舎現場見学会レポート ～



鹿児島営繕事務所では、将来を担う学生たちに実際の工事現場の状況や雰囲気を見て・聞いて・触って体感してもらうために、現場見学会を定期的で開催しています。（★[前回の見学会はこちら](#)★）

12月7日（水）には鹿児島大学建築学科の2年生60名を招き、現場見学会を開催しました。

学生たちは普段の講義とは違う、本物の現場の雰囲気に興味津々で見学していました。

見学後のアンケートでも「想像していたスケール感よりもはるかに大きかった」「教科書で見たものの実物を見て感動した。学ぶ意欲が刺激された」「誇りをもって仕事をしている雰囲気が伝わった」など好評でした。



鹿大OBも監督職員として頑張ってます！



絶賛工事中の2期庁舎の内部



完成した1期庁舎で外観の説明

●鹿児島第3合同庁舎の見どころ●



「歴史と文化の道」～景観への配慮～



鹿児島第3合同庁舎付近は、照國神社や鶴丸城趾、西郷隆盛像など数々の観光名所が点在しており、目の前を走る国道10号の歩道は「**歴史と文化の道**」と呼ばれ、鯉の泳ぐ水路やガス灯など風情ある情景を見せています。
この景観を守るため、この一帯は建造物の高さなどさまざまな制限が設けられており、鹿児島第3合同庁舎もこの制限を考慮したデザインになっています。
また仮囲いにも西郷さんをはじめとする偉人たちが描かれるなど、工事中もその景観を損ねないような工夫がされています。

木のぬくもりでほっ♪ ～木材利用の推進～



エントランス部分は木材を利用したぬくもりある空間…のように見えますが、よくみると柱部分は木目の型枠で固めたコンクリート！
これには学生もビックリで、柱部分を触って確かめていました。

ちなみに営繕部では「**都市(まち)の木造化推進法**」に基づき、公共建築物への木材利用に取り組んでおり、鹿児島第3合同庁舎でも随所に木材が使われています。

それにちなんで今回のホットニュースも木材を利用してみました♪

新聞各社にも当日の様子が掲載されました♪

**建築の楽しさ触れる
鹿大生が現場見学**
鹿児島営繕

九州地方整備局鹿児島営繕事務所（上田昭雄所長）は7日、鹿児島大学の学生を対象に現場見学会を開いた。工学部建築学科2年生約60人が鹿児島市の鹿児島第3合同庁舎の現場を訪れ、建築の面白さを肌で感じた。



建築の面白さを肌で感じた＝鹿児島市の現地
上田所長は「現在、型枠の解体や組み立てを進めている。現場の雰囲気を感じて、建物づくりの楽しさにより理解を深めてほしい」と話した。

鹿児島建設新聞 12月9日付 第5面

**鹿大生が建築現場体感
鹿児島第3合同庁舎を見学**



【鹿児島】未来の建築業界を担う鹿児島大学建築学科の2年生80人による現場見学会「写真Ⅱ」が行われ、授業では感じることのできない、現場の雰囲気などに触れた。国土交通省が整備を進めている鹿児島第3地方合同庁舎はSRC造（一部S造、RC造）地下1階地上5階建て、1万1588・4㎡。1期庁舎は2年11月に完成し、現在は2期庁舎の躯体工事が進められている。設計は梓設計、施工は奥村組、日本電設工業、新日本空調が担当している。見学会は30人ずつの2グループに分かれて実施。現場事務所内で奥村組の担当者から建て替える理由など企画・設計段階やこれまでの工程の紹介を受けた学生らは、コンクリート打設等が進む躯体内に、鹿児島営繕事務所の担当者からSRC造やRC造、S造など構造別の柱や梁、鉄筋などについて説明を受けた。熱心にメモを取っていた。

また、事前アンケートでは建築のトレンドや現場での創意工夫、IT導入や分業の実態、残業時間や休暇など待遇面など多岐にわたる質問が寄せられ、材料などについて学びだしたばかりという男子学生は「現場の雰囲気は少しは分かった気がする。進路選択へ大きな1日となった」と語っていた。

九建日報 12月13日付 第2面